

科目名		言語療法技術VI			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
臨床で役に立つような知識にする。									
〔授業全体の内容の概要〕									
ばらばらに習ってきた基礎科目と専門科目を有機的に結びつけて学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
国家対策につながるような実践的知識の集積									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	言語発達障害系（1）								
3	言語発達障害系（2）								
4	言語発達障害系（3）								
5	高次・失語症系（1）								
6	高次・失語症系（2）								
7	高次・失語症系（3）								
8	発声・発語障害系（1）								
9	発声・発語障害系（2）								
10	発声・発語障害系（3）								
11	聴覚障害系（1）								
12	聴覚障害系（2）								
13	聴覚障害系（3）								
14	言語聴覚障害総論系（1）								
15	言語聴覚障害総論系（2）								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版					大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									